

群馬県立太田フレックス高等学校【定時制課程】学校評価一覧表① (令和4年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動(授業等)を行っていますか。	① 完全な単位制の履修形態に満足している生徒・保護者が90%以上である。	受講登録後も個々の生徒の適性や進路目標に合わせた個別指導を適宜行う。	A	A	生徒99%、保護者98%が肯定的な回答をしている。引き続き個別最適な指導を行う。			
		② 学年、学級がない中で、生徒の出席率が80%以上である。	様々な要因に影響されず、学校生活の維持・向上ができるよう指導する。	A	A	出席率は、Ⅰ部85%、Ⅱ部81%、Ⅲ部82%である。今後も各生徒に合わせた支援・指導を行い早期対応を図る。			
		③ ゼミ(総合的な探究)の活動に満足している生徒が80%以上である。	主体的かつ探究的に活動することで、自己肯定感が高まるよう支援する。	A	A	生徒、保護者ともおよそ94%が肯定的な回答をしている。教員間での情報共有と研修を重ね、より発展させる。			
		④ 学校設定科目の内容に満足している生徒・保護者が80%以上である。	生徒の現状に応じて、必要な学力が身に付くように、指導内容や授業展開を工夫する。	A	A	学校設定科目を受講したことのある生徒の内、生徒95%、保護者97%が肯定的な回答をしている。各学校設定科目の内容を適宜検討し、現状の生徒の実態に合わせたものへと修正していく。			
		⑤ 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	本校の特性を生かした教育活動と個に応じた支援・指導を展開する。	A	A	生徒の85%が肯定的な回答をしている。本校の特色を最大限活かし、きめ細やかな指導を行い改善させていく。			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑥ 少人数制の利点を生かした授業内容に満足している生徒・保護者が90%以上である。	少人数制授業のメリット・デメリットを再確認したうえで、授業展開にバリエーションを持たせる。	A	A	生徒97%、保護者98%が肯定的な回答をしている。授業アンケートで生徒から指摘された内容については、教科の枠を超えて職員の情報共有を図りながら授業改善に生かす。			
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦ 学力が向上したと感じている生徒が80%以上である。	思考力・判断力・表現力を育む指導、探究の過程を重視した授業、適切な評価等の工夫と実践を行う。	A	A	生徒88%、保護者84%が肯定的な回答をしている。ICTの活用や、職員間で生徒の状況のみならず、授業の単元の学習状況等を共有し、より実感している生徒を増やす。		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧ SNSに関わるトラブルに巻き込まれることなく、健全な学校生活を送っている生徒が100%である。	SNSに頼らない人間関係づくりによるトラブルの予防や日々の生徒の観察をより徹底し、適宜指導する。	B	B	生徒90%、保護者84%が肯定的な回答をしているが否定的な回答が微増しておりトラブルを抱える生徒が増えていると考えられる。早期発見と早期指導に繋げていく。			
		⑨ 挨拶の励行や学校生活の中でのマナーや礼儀を守った行動ができている生徒が80%以上である。	生徒間・生徒と教員間の温かい人間関係を基に、TPOをわきまえた節度ある行動を取れるように指導する。	A	A	生徒90%、保護者84%が肯定的な回答をしているが生徒の中にはマナーや礼儀自体を理解していない者もいるので、粘り強く指導を継続していく。			
		⑩ 交通マナー・交通ルールを遵守している生徒が100%である。	自分の身は自分で守るという意識を高めつつ、交通マナー・交通ルールを守る必要性を繰り返し指導する。	B	B	生徒96%、保護者98%が肯定的な回答をしている。定期的なマナーアップ運動による呼び掛けに加え、状況によっては加害者にもなり得ることを注意喚起・啓発に取り組む。			
		⑪ 教育相談が充実していると感じている生徒が80%以上である。	管理職、教育相談係、スクールカウンセラー等と連携し、個々の生徒への支援を組織的に行う。	A	A	生徒89%、保護者90%が肯定的な回答をしている。保護者も含めスクールカウンセラーに相談しやすい環境作りを行う。職員研修等を通じて、教職員の教育相談技術の向上を適宜図る。			
		⑫ 学校行事チャレンジワークに生徒の70%以上が参加し、参加者の90%以上が完歩している。	行事の意義理解と健康管理という生徒への事前指導を充実させるとともに、当日は生徒の的確な観察と支援を行う。			10月14日に実施予定であったが、昨年度と同様、感染症予防対策のため、安全確保の観点から中止とした。			
		⑬ 学校行事フレックス発表会に満足している生徒が80%以上である。	情報発信力等をさらに高められるように、探究的活動の積み重ねを行う。			12月9・10日に実施予定のため、今回は評価は行わない。昨年度は感染症予防対策のため、一般公開はせず、ゼミ活動の発表を校内生徒に限定した。本年度も検討中である。			
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑭ 「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	日々の観察と定期的アンケートにより状況を把握し速やかに対応する。集会等によりいじめ防止の啓発を行う。	A	A	生徒82%、保護者88%が肯定的な回答をしている。引き続き生徒理解、実態把握に努め課題を抱える生徒に対してチームで支援し、小さな変化に気づき迅速に対応できるようにする。			
6 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	⑮ 感染症予防について正しく理解し、実践する等、健康について自己管理ができている生徒が70%以上である。	『保健だより』による感染症予防や生活リズム等の広報活動を促進し、自主的に健康づくりができるようにする。	A	A	生徒81%、保護者72%が肯定的な回答をしている。感染症予防対策のため、登校時での検温や健康観察を継続的に実施し、健康状態に応じて、個別に適切な指導・助言を行う。				
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導をしていますか。	⑯ 進路指導が自分の進路検討や進路決定に役立つと感じている生徒が80%以上である。	進路関係諸行事のさらなる充実と『進路だより』の発行に加え、こまめに個別アドバイスを行う。	A	A	生徒、保護者の94%が肯定的な回答をしている。さらに、進路相談を充実させて、個々の生徒の進路実現を図るための段階的・継続的な進路学習を行う。			
		8 生徒は自らの進路について真剣に考え実現に向けて取り組んでいますか。	⑰ 進路目標を持ち、その実現に向けて努力している生徒が80%以上である。	早期に卒業後の進路を意識し、モチベーションを維持できるように指導する。卒業予定者に対するゼミ活動を充実させる。	A	A	生徒87%、保護者80%が肯定的な回答をしている。今後も進路希望調査や進路学習を通して、進路について考える機会を定期的に設定する。		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑱ ICTを活用した情報発信に満足していると評価する保護者が70%以上である。	保護者のニーズを的確に把握した上で、一斉メール・ホームページを活用した情報発信を行う。	A	A	保護者の94%が肯定的な回答をしている。いまだコロナ禍にあって、諸活動が制限されているが、ICTを用いて保護者への各種情報提供の機会を確保していく。			
		⑲ 学校説明会や授業公開、中学校訪問など、外部に情報発信する機会を年間5回以上設けている。	学校案内等の説明資料を充実させ、ホームページも定期的に更新し、本校の魅力を積極的に発信する。	A	A	県の警戒度を考慮しつつ、中学校職員への学校説明会を数回実施した。また、随時中学生とその保護者に対して授業見学の受け入れを行った。今後更に、ホームページの充実にも努めていく。			
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導や業務改善を行っていますか。	⑳ ICTを活用した授業に、生徒の70%以上が満足している。	Chromebookを活用し授業内容の充実を図る。職員間の情報共有にオンラインを活用する。校内研修会を実施する。	A	A	生徒の94%が肯定的な回答をしている。感染状況に応じてハイブリット型の授業が展開できるよう、ICTの効果的な活用を模索していく。			